

2025年度 第1回企画環境委員会 議事録

日時 令和7年6月10日(木) 15時00分～17時00分

場所 よつば総合法律事務所

出席者

東條 史（京葉支部）・相川 幸雄（木更津支部）・溝口 次郎（茂原支部）
飯田 利治（東葛支部）・石井 清（北総支部）・五木田 厚（千葉支部）
辰野 方哉（安房支部）・越川 和樹（銚子支部）・齋藤 直文（市原支部）

東会長より挨拶

直近において大型代理店に対して比較推奨の問題により業務改善命令が出るなどしており代理店も1企業として見られています。企画環境の推進項目である代理店の価値向上策に一層取り組んでもらいたい。

1. 2025年度日本代協企画環境委員会報告

活力研の報告

代理店は量から質への移行という流れにあるが保険会社も質の本質を模索しているところではないか。そこでの問題点は乗合い代理店ではないか。保険会社ごとに品質の基準に違いが出てくると代理店として対応の問題がある。品質についてのギャップは完全に埋まることは無いと思うが活力研を通して継続的に会話を進めていくとのこと。

繰越課題

価値向上策に取り組む意義を適切に伝えるためにはそれなりの知識と時間が必要でありそれらをどのように確保していくかが非常に問題である。

数値目標を掲げない中で委員会メンバーや代協会員が積極的に取り組む姿勢を維持し続けることが重要であり、どのようにインセンティブを付けていくかが課題である。

日本代協企画環境委員会資料の配布

ジギョケイの「その計画は事業所を地域を救う、BCP(事業継続計画)」を配布しお客様へのご案内に今後活用するようにお願いした。

2. 新年度の取組みについて

昨年度は各支部において企画環境としてうまく活動が出来なかった反省点を踏まえ活発に支部活動が出来るよう委員は誘導する。特にジギョケイについては保険会社に協力を仰ぎ、市町村、商工会、商工会議所と連携しワークショップを各支部で展開していく。この展開においては委員長が保険会社と開催地域、開催時期について打ち合わせをし各支部に連携するといった流れでいく。課題としてはまだワークショップを展開できる状況ではない地域が多数あるため開拓が必要なこと。開拓は保険会社と代協会員が協力して成せる事であるのでしっかり連携をしこの取組みを千葉県全体に広めたいので支部長、委員と協力して推進し、またこの活動により好取組みのプロセスが多数量産出来るよう活動して頂きたい。その際には代協書庫にある報告書を使用し委員長に報告していただきたい。またワークショップの開催内容についても資料を配付し委員に内容を理解頂いた。

また社労士の先生に支部セミナーをして頂く予定も委員から報告された。

その他の推進項目に関しても既に各支部活動の計画は決まっていますがその活動の中には是非、セミナーなどの開催を挟んで頂くようお願いしたい。

3. 不公正募集について

不公正募集において1件報告があった。車の値引きを条件に保険加入をした案件で、既に東関東ブロック、ブロック長に報告済み。ポイントは報告する事全て明るみになっても良い事をお客様が了承して頂く事。案件がある場合、報告書を使い委員長まで報告を頂きたい。案件がなかなか出てこないで委員の方は支部役員会ごとに必ず不公正募集について案件がないか確認をとって頂きたい。

4. その他

東京代協において令和7年7月3日に日本代協専務理事の金澤様のセミナーが開催されます。オンラインで受講する事が出来るので是非、参加して頂きたい。

次回開催日時

場所 よつば総合法律事務所

日時 令和7年9月26日15時00分～17時00分

以上

議事録作成人 大森 滋